

アトリエに妖精

造形作家・吉川さん 国立に開設

妖精をテーマにした木彫作品を手がける造形作家、吉川潔さん(60)が6日、国立市中2丁目の住宅街に自分の作品を常設展示する「アトリエ・パネンカ」をオープンした。写真。作品の材料に使う木、金属、粘土にちなみ、毎週木、金、土曜日の3日間、アトリエを地域に開放する。

吉川さんは30年以上、人形劇団で使う操り人形やマスクのデザインと制作の仕事をしてきた。これまでに手がけた作品は900体近くになるといふ。駆け出しのころ、人形



劇の本場であるチェコ・プラハに留学し、その芸術性と完成度の高さに圧倒された。「パネンカ」はチェコ語で「おもちゃの人形」という意味だ。

5年前、自分自身に素直に作品をつくりたいとフリーに。個展を見に来た人に「いつも見られる場所はないのか」と尋ねられ、アトリエ開放を思い立った。

作品の多くはヒノキやホオなど木目を生かした一刀彫で、乾燥させたコケや草木など自然の素材も利用している。「人形を動かすと表情が生まれ、イマジネーションが広がる。それを知ってもらいたい」と操り人形も数体展示している。

午前11時〜午後6時、入場無料。国立駅から徒歩12分。今後は木作品や人形制作などの教室も開く予定という。問い合わせはアトリエ・パネンカ(0422・5800・2678)へ。(水野雅恵)

多摩

立川支局

〒190-0012

立川市曙町2-38-5

立川ビジネスセンタービル3階

☎ 042-524-5104

fax 042-524-5106

mail tachikawa@

asahi.com

町田 ☎ 042-723-3251